

米国 関税の脅威でオレンジ果汁先物価格が高値

[FreshPlaza 2025年7月15日](#)

ニューヨーク証券取引所のオレンジ果汁先物は、トランプ大統領がブラジル製品に50%の関税を課す可能性を発表したことを受けて、4カ月ぶりの高値を記録した。最も取引量の多い中心限月で最大8.7%上昇して1ポンド当たり3.1385ドルとなり、取引時間中の高値としては3月上旬以来の最高水準を記録した。

コーヒー、牛肉等の様々な商品を含むこれらの関税の発表は、貿易上の懸念を引き起こしている。エクスパナ社(農業・食品市場情報会社)の市場アナリストであるクレイグ・エリオット氏は、フロリダ州でのオレンジ生産の減少により米国はブラジルからの輸入品への依存度が高まっていると指摘する一方、輸入関税の影響をめぐる状況は「依然として不確実」であるが、関税の対象となる貿易量は「ブラジルの競争力をさらに損なう」可能性があると述べた。

米国農務省の統計によると、米国向けオレンジ果汁の最大の供給国であるブラジルの昨年の輸出額は、約10億ドルであった。メキシコもそれに次ぐ主要な供給国であり、輸出量はブラジルの約3分の1に相当する。

CNNブラジルは、ブラジルからのあり得る外交的アプローチとして、関税の30%への引き下げと、コーヒーとオレンジの輸出割当に関する協議を取り上げた。ブラジルはアラビカ種のコーヒーの主要生産国であるが、この高級なコーヒー豆の先物価格は4.4%上昇し、1日の取引時間中の動きとしては4月下旬以来最大を記録した。(以下、コーヒーについて省略)

出典: Yahoo Finance (Bloomberg)

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

ベトナム 中国産ゴールドエンブラムが人気

[VN EXPRESS INTERNATIONAL 2025年7月15日](#)

中国産ゴールドエンブラムが19ドル/kgの高値にもかかわらずベトナムのバイヤーを魅了

鮮やかな色と食味の中国産ゴールドエンブラムが、ベトナムの消費者を魅了し、50万ドン(19.13ドル)/kgのプレミアム価格を付けている。黄金色の果皮、ほのかな香り、歯触りの良い食感、そして繊細な甘さを持つこの品種は、ベトナム産のスモモに比べて著しく大きく、高価な種なしライチやかかつて市場を支配していた所謂「ミルクグレープ」(中国産シャインマスカット)等の果実と競っている。

ホーチミン市中心部の高級果実店のオーナーであるトゥエット氏は、初めてこの品種の輸入に挑戦してからわずか2週間で200kg以上のスモモを販売したとして、「最初に試してみた後でリピート買いする客が多い」と話す。オンラインの業者は、積極的にこの果実を販売している。

輸入果実の販売業者であるレ・トア氏は、以前販売したことのあるチリやオーストラリアの品種との比較で中国産スモモの独自性を強調し、「果肉は黄金色で、ベトナム産のスモモのように歯触りが良く、まろやかな甘さで、圧倒されることなく気軽に楽しめる」と述べた。

両国が正式な協定に署名していないため、現在は中国から手持ちまたは少量で輸入されている。国境のラオカイ省の貿易業者であるグエン・リエン氏は、卸売価格でさえ最大30万ドン/kgであると述べた。

中国当局によると、このスモモは国内で開発され、雲南省、新疆ウイグル自治区、北京市密雲区等の地域で栽培されている。雲南省と新疆ウイグル自治区では、その栽培面積は数千ヘクタールに及ぶ。密雲区では、約660ヘクタールがこのスモモの栽培に割り当てられている。収穫の最盛期は6月下旬から8月である。

ベトナム税関データによると、今年上半期の中国からの果実と野菜の輸入額は4億200万ドルで、これらの品目の総輸入額の33.5%を占めた。中国はベトナムへの果実と野菜の最大の供給国である。

執筆者: ティ・ハー

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)